

# Together



LSVT-BIGの詳細はこちら

パーキンソン病に特化した

# リハビリプログラム

## 「LSVT-BIG」

LSVT-BIGとは、アメリカで開発されたパーキンソン病患者のために開発された運動療法プログラムです。

パーキンソン患者さんは動きが遅くなるなど、食事、着替え、入浴などの基本的な動作が困難になることがあります。

LSVT-BIGは、患者さんが日常生活での動作をより大きく、力強く、正確に行えるよう支援することを目的としたリハビリプログラムです。



「LSVT-BIG」の特徴

1回60分

×

週4回連続

×

4週間

×

認定セラピストとの個別訓練

LSVT-BIGは、特に大きな動きを重視しています。パーキンソン病患者さんは、しばしば動作が小さくなりがちですが、このプログラムではその動きを大きくし、正常な範囲で行うことを目指します。例えば、歩行、立ち上がり、座り込み、物を拾うといった基本的な動作を大きく行う練習を繰り返すことで、患者さんの動作の質を向上させます。プログラムのもう一つの特徴は、繰り返しの練習です。高頻度での練習を通じて、動作のパターンを脳に定着させ、自然に大きな動きができるようになります。これにより、患者さんは日常生活での動作を無理なく行えるようになります。LSVT-BIGの効果は多岐にわたります。まず、歩行の安定性と速度が向上し、小刻みな歩行や転倒のリスクが減少します。また、日常動作の効率化が図られ、衣服の着脱や食事などの基本的な動作がスムーズになります。さらに、姿勢の改善が期待でき、正しい姿勢を維持することで全体的なバランスと体力が向上します。これにより、患者さんの生活の質が大幅に向上し、より自立した生活が可能となります。下関リハビリテーション病院では、9名の認定セラピストがLSVT-BIGプログラムを指導し、患者さん一人ひとりに最適な治療を提供しています。最新の研究と技術を駆使し、患者さんのニーズに応じた包括的なサポートを行うことで、多くの患者さんがこのプログラムを通じて新たな希望を見出しています。